

## アルファ線の作用

アルファ線はベータ線の2倍のプラスの電気を持ち、7千倍以上もの重さを持っています。従って、ベータ線よりもっと頻繁に軌道電子と衝突を繰り返し、しかも原子との衝突で自分の向きをほとんど変えません。

もちろん、原子核のごく近くを通れば大きく向きを変えることがあります。しかし、原子の大きさに比べて原子核がとても小さいので、衝突の確率は非常に低くなります。アルファ線は物質の中をまっすぐに突き進みながら通り道の両側にやはりたくさんのデルタ線を発生させます。

